

伊豆半島の地殻変動*

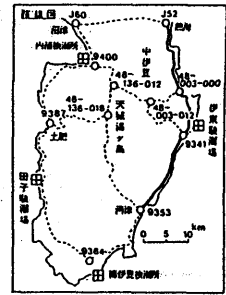
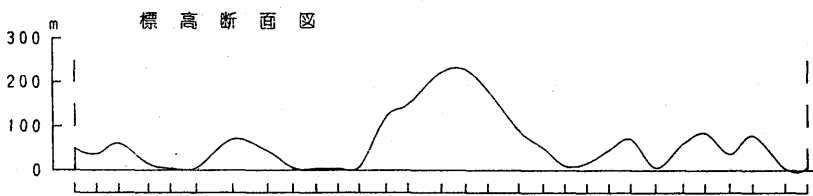
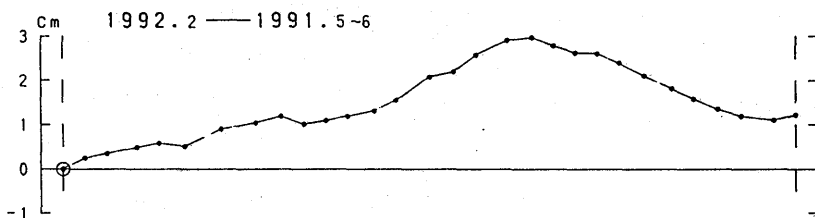
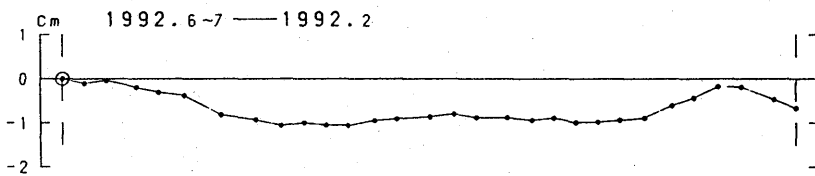
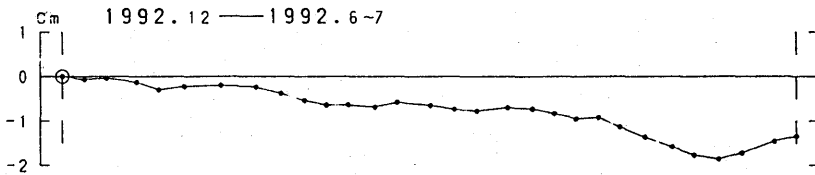
建設省国土地理院

第1図は、熱海～河津間の水準測量の結果である。伊東市南部を中心とする隆起は、ここ1年近くは止まっているようである。1993年1月に群発地震活動があったが、少なくとも1992年12月の観測ではそれに関連するような兆候はでていない。第2～4図は、伊豆半島東部の辺長測量の結果である。1年前の観測と比べて、各観測点間で変化がなされたはやや縮みで、傾向としては前回と同様である。水平歪は北西～南東方向の圧縮で南側でやや大きい。第5図は、川奈における精密変歪測量結果である。前回測定（1991年11月）と比べ大きな変化はない。第6図は、初島～伊東のGPS連続観測及び小室山～宇佐美のEDM連続観測結果である。季節的な変動がみられるが、特に有意な変化はない。

* Received 19 Apr., 1993

152
 9327
 9328
 9329
 9330
 9331
 9332
 9333
 9334
 48-003-000
 9335
 9336
 9337
 9338
 9339
 9340
 9341
 9342
 9343
 9344
 9345
 9346
 9347
 9348
 9349
 9350
 9351
 9352
 9353

熱海市 伊 東 市 東伊豆町 河津町

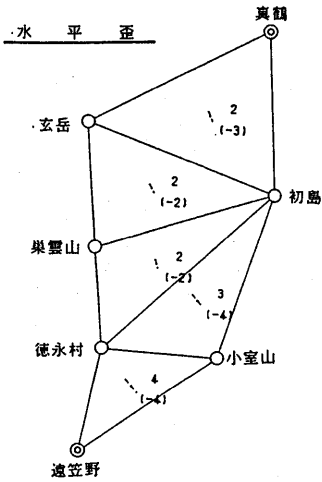


第1図 熱海～伊東～河津間の上下変動

Fig. 1 Level changes along the route from Atami to Kawazu, via Ito.

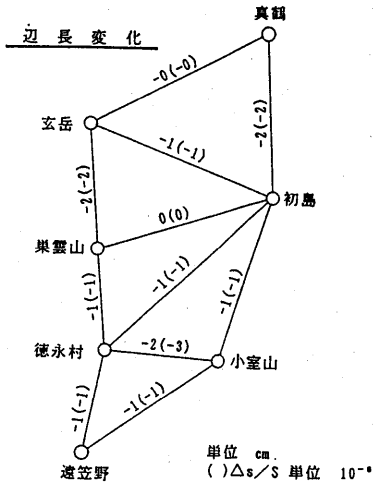
前回測定値との比較

測定区間	今回 1992年11-12月	前回 1991年11-12月
初島～小室山	11,790.46	11,790.47
初島～徳永村	15,602.60	15,602.61
初島～果雲山	12,575.89	12,575.89
初島～玄岳	13,497.13	13,497.14
初島～真鶴	11,135.80	11,135.82
玄岳～果雲山	13,692.13	13,692.13
玄岳～真鶴	8,535.88	8,535.90
徳永村～果雲山	6,960.44	6,960.45
徳永村～小室山	7,795.29	7,795.31
徳永村～遠笠野	7,200.21	7,200.22
小室山～遠笠野	11,274.45	11,274.46



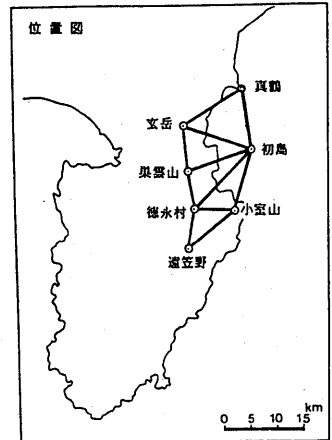
1992.11-12と1991.11-12の比較

10×10^{-6} 縮み主軸
 10×10^{-6} 伸び主軸
 数値 最大せん断歪 10^{-6}
 () 面積変化率 10^{-6}



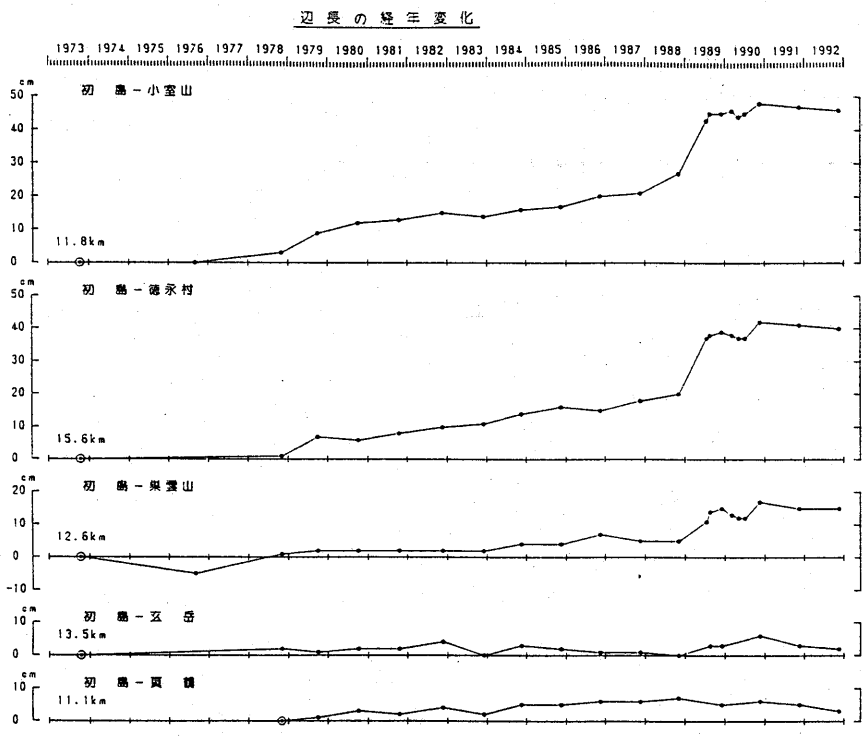
1992.11-12と1991.11-12の比較

単位 cm.
 () $\Delta s/s$ 単位 10^{-6}



第2図 伊豆半島東部地方精密距離測量結果 (1)

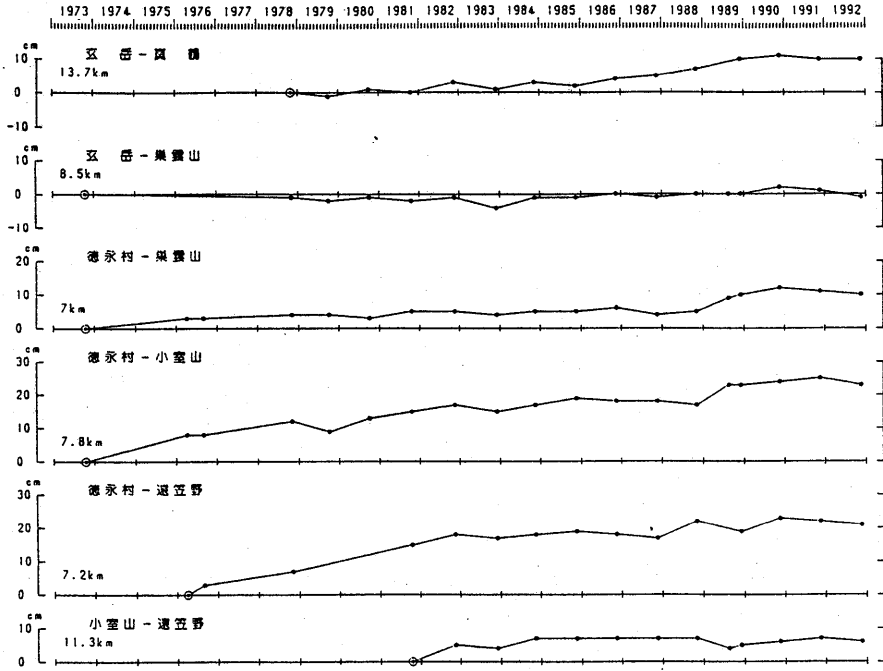
Fig. 2 Results of precise distance measurements in the eastern Izu Peninsula (1).



第3図 伊豆半島東部地方精密距離測量結果 (2)

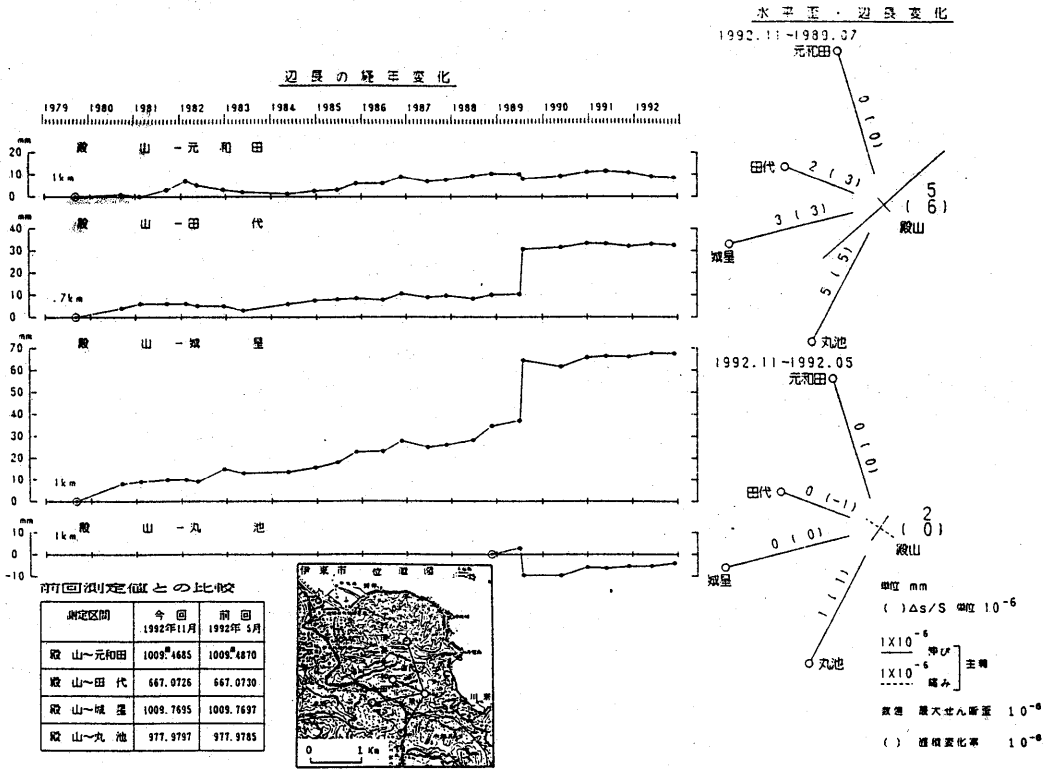
Fig. 3 Results of precise distance measurements in the eastern Izu Peninsula (2).

辺長の経年変化



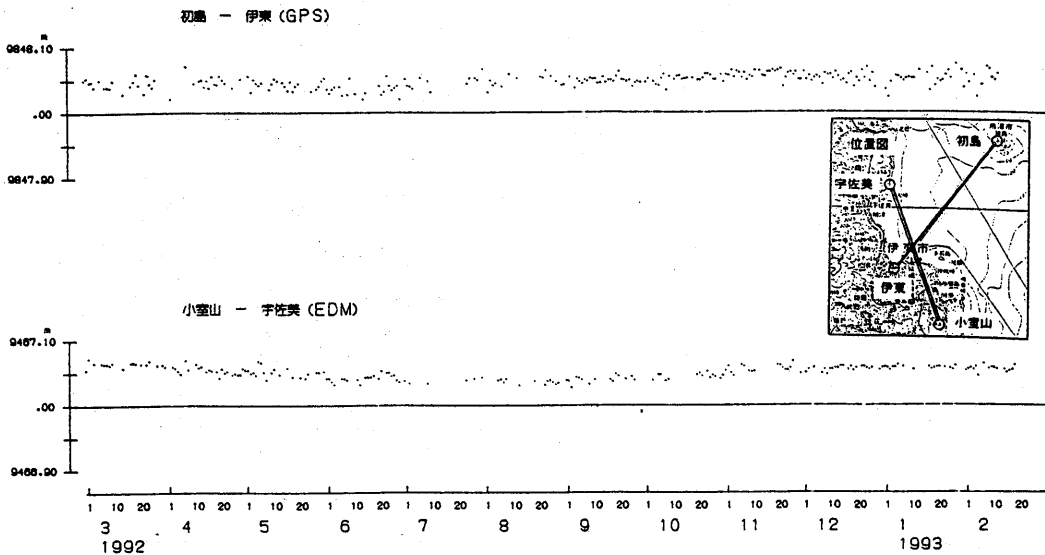
第4図 伊豆半島東部地方精密距離測量結果 (3)

Fig. 4 Results of precise distance measurements in the eastern Izu Peninsula (3).



第5図 川奈精密距離測量結果

Fig. 5 Results of precise distance measurements at Kawana radial baseline.



第6図 GPS, 光波測距儀による伊東市周辺の距離連続観測結果 (日平均)

Fig. 6 Continuous distance change observation with GPS and EDM around Ito City (daily mean).